

《グラフィア》

3月7日 卒業式

2月20日～27日 なかよし美術館

《巻頭文》 山の話

主題

子どもの表現を紡ぐ教室に

―「教わってから考える学習」から「考えてから教わる学習」への転換―

「考えてから教わる学習」で育みたい能力とは

～「万葉歌碑プロジェクト」を学習する子どもの姿と「ことばの旅」の可能性～

《特別寄稿》

教育研究の火を、明るく灯し続けるために

◆子ども記 またやりたい、と思える活動にであえること

宮路 淳子 (1)

服部 真也 (4)

島袋 光 (10)

亀田 直記 (16)

平野 江美 (22)

実践

「かがやく時間」が拓く子どもたちの可能性

―公開研究発表会のパネルディスカッションから見えてきたもの―

2月運動ランドをつくろう(けいこ体育)

～自ら運動を楽しみ、動きを広げる子どもをどう育てるか～

「みんなと話そう」 しごと 五年

国語学習のつくり方を考える

～「海の命」(光村図書・六年)の実践から～

やってみたいが実現する学習環境

～五年 ふりこのきまり～

体育学習を通して低学年の子どもたちに育みたい資質・能力とは③

～二年生 ボールを使つての運動遊び～

◆子ども記 違いから学ぶ

◆なかよし 自分たちで生活をつくるなかよし委員会

《実践寄稿》

「主体的な学びがある算数の授業づくり」を通して、真正(オーセンティック)な学びを口指す

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

吉田 充秀 (64)

伊藤 剛士 (62)

清水 聖 (60)

武澤 実穂 (54)

中野 直人 (48)

井平 幸子 (42)

樫原 貴博 (36)

西下 旬也 (30)

西川 淳 (24)



《グラフィア》

なかよし集会を支える子どもたち（低学年）
なかよし集会を支える子どもたち（高学年）

《巻頭文》 冬籠の季節に

主題

子どもの文脈の学びで涵養される「学びに向かう力・人間性等」

ビフォーアフター 変わる教師の教育観

～本校着任から六年の時を経て～

《特別寄稿》

附小のダンスと他教科との関わり

◆子ども記 なかよし集会で学んだこと

宮路 淳子 (1)

阪本 一英 (4)

三井 栄治 (10)

青木 恵子 (16)

檜原 貴博 (22)

実践

新教科「かがやく」の授業がおもしろい

～一年生が自分の文脈で学ぶ意味と学校教育の役割～

「授業時間外」でも豊かに思考し続ける子どもたちを支える

～工作「届け！わたしの気持ち」けいこ（図工）四年～

メダカを飼育・観察しやすい環境づくり

～五年 メダカのたんじょう～

けいこ国語で発揮発展させたい能力とは

～単元計画や課題やめあての在り方について考える～

体育学習を通して低学年の子どもたちに育みたい資質・能力とは②

～二年生 器械・器具を使つての運動遊び～

健康意識の向上を目指す活動

～栄養教諭・学校医との連携～

◆子ども記 三十年前の子ども記①

◆なかよし なかよし広場から見える学びと関係のつながり

《実践寄稿》

自律的に学びを進める場の創造

～自律を促し、学びを深めるための教師の働き～

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

山本 純子 (24)

服部 真也 (30)

中野 直人 (36)

島袋 光 (42)

武澤 実穂 (48)

太田 奈穂子 (54)

中村 征司 (60)

西下 旬也 (62)

森 優太 (64)



《グラフィア》

臨海合宿

《巻頭文》 猛暑の記録

主題

自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子供を育む教育の実現
幼児期の学びを小学校の主体的・対話的な学びにつなげる
～一年生のスタートアップに大切なもの～

《特別寄稿》

深い学びを導く算数授業づくり
～2年「広さくらべ」の授業から～

◆子ども記 自ら学び、友人と協働して育つ子どもたちのそばにいる喜び

宮路 淳子 (1)

西 田 淳 (4)

山 本 純 子 (10)

石 田 淳 一 (16)

服 部 真 也 (22)

実践

ヒヨウタンを見つめる子どもの目線
～第四学年 植物の成長と季節～

Google App Script を用いた銀行システムの構築と運用
入学期の算数学習における教師支援とは
表現を追究する子どもの姿

～「やまなし」(光村図書・六年)の実践から～

奈良教育大学生と一緒に STEAM 学習
～レゴブロックで音に合わせたアート作品を作ろう！～

養護教諭と連携した「くらしグループの活動」
～二年目の取組～

◆子ども記 子どもが運営する「なかよし集会」

◆なかよし 朝そうじから見えたなかよし

《実践寄稿》

架け橋期の子どもたちのふりかえり記述による学びの深まり
～図画工作科における学びの言語化に着目して～

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

長 島 雄 介 (24)

清 水 聖 (30)

三 井 栄 治 (36)

井 平 幸 子 (42)

中 村 征 司 (48)

太 田 原 みどり (54)

武 澤 実 穂 (60)

太 田 奈穂子 (62)

大 塚 有 佳 (64)



《グラフィア》

なかよし集会

《巻頭文》 内に在る力を育む

主題

「新しい時代を生き抜く子ども」に育むべき能力を考える
理科学習において「学び方を調整し、興味・関心に応じた学び」をつくるにはどうすればよいか

《特別寄稿》

自己評価の意義を再考する

◆ 子ども記 子どもに育ててもらったこと

宮路 淳子 (1)

阪本 英 (4)

中野 直人 (10)

鎌田 祥輝 (16)

清水 聖 (22)

実践

令和の時代の奈良女子大学附属小学校

―積極的に現状の見直しを図り、ブラッシュアップに繋げる―

子どもの防災意識向上に寄与する校外学習

―地震観測所との連携・協力への可能性を探る―

主体的に学習に向かう子どもを目指して

―「命を守る」くらしを守る」しごと 四年―

身のまわりにある形への関心を高め、図形への見方・考え方を高める算数学習

―三年「くらしの中のかたち（円と球）」―

芸術鑑賞会と楽器体験ワークショップにおける児童の主体的な学び

―音楽アウトリーチ活動による奈良教育大学との連携事業において―

性の多様性について考える機会を作る

―LGBTQ+をテーマにした保健指導（五・六年生）―

◆ 子ども記 一人一人が考える

◆ なかよし 気持ちの『電波』

《実践寄稿》

内容を教えるから能力を育むへ 類推的活動を促すことが、主体的な科学概念の形成に及ぼす効果

―第4学年「ものの温まり方」におけるイメージ図の作成・共有を事例に―

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵…服部真也 カット絵…服部真也

西田 淳 (24)

長島 雄介 (30)

樫原 貴博 (36)

三井 榮治 (42)

中村 征司 (48)

太田 奈穂子 (54)

島袋 光 (60)

太田原 みどり (62)

柿沼 宏充 (64)



《グラビア》

グループなかよしの活動（くらしグループ）

《巻頭文》 数学の世界に引き込む

主題

「教わってから考える学習」から「考えてから教わる学習」への転換
― 国語学習から考える ―

体育学習における「考えてから教わる学習」とは

― 子どもたちの中に、どんな力が育ったのか ―

《特別寄稿》

現代から過去の「奈良の学習法」を振り返る

― 日記の探索を通じて ―

◆ 子ども記 子どもたちは「日記」を書くことをどう捉えているか

小林 毅 (1)

井平 幸子 (4)

武澤 実穂 (10)

坂口 真康 (16)

服部 真也 (22)

実践

測定領域で見せた思考力・表現力Ⅱ

― 一年算数「たかさくらべ」 ―

ハザードマップを活用した理科学習

― 第五学年 流れる水の働きと土地の変化 ―

縄文人になろう(仮) 改め「われらDIY縄文人！縄文人はすごかった」

― (三年・しごと) ―

子どもの考えが生きる理科の学習

― ものの燃え方(六年) ―

音楽づくり「問いと答え」から、表現を楽しむ

― がっきで おはなし(二年) ―

一年間の実践をふり返る

― 自律的に学ぶ子が育つ教室、国語学習を目指して ―

◆ 子ども記 わたしたちの学校じまん「自由研究」

◆ なかよし 生涯の「なかよし」の基盤を育むために

《実践寄稿》

子どもたちによるカリキュラムの創発

― 小学校二年生の児童の観察から ―

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

河田 慎太郎 (24)

長島 雄介 (30)

清水 聖 (36)

中野 直人 (42)

天池 美穂 (48)

島袋 光 (54)

三井 栄治 (60)

朝倉 慶子 (62)

長浜 佐知子 (64)

《グラビア》

校医の先生方のご講話

なかよしグループ（くらしグループ）

《巻頭文》 「子どもから学ぶ」教育の可能性

主題

「学びに向かう力」の育成に繋がる学習と学校づくり

人ひとりの子どもの学びの文脈を大切にしたい学習とそれによって育つ資質・能力を育てる
くしごとの学習における子ども達の姿を通して

《特別寄稿》

学校教育における「探究」の現在地とこれから

「概念型探究」の可能性に着目して

◆ 子ども記 大舞台に強くなる

実践

奈良女附小の運動会表現運動

子どもたちの見方・感じ方を深める「高学年の鑑賞題材」の手渡し方
―鑑賞「日本らしい美しさに迫る」けいこ（造形）六年―

個が題材を持ち込み、伝え合う「かがやく時間」

メタバースで行う協働学習

くマインクラフトで奈良市を学習する②く

技能実習生と子どもを近づける学習を目指して

くベトナム人実習生と中国人実習生との交流から（二年）く

養護教諭と連携した「くらしグループの活動」

◆ 子ども記 二学年で仕事を進めていく運動会

◆ なかよし 体のこと、命のことをみんなで学び考える

《実践寄稿》

おたずねで発揮されるつなぐ力

く小規模校から大規模校まで、多様性を育む学習く

会員のひろば 70 あとがき 72

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

小林 毅 (1)

西田 淳 (4)

樫原 貴博 (10)

藤原 一弘 (16)

河田 慎太郎 (22)

阪本 一英 (24)

服部 真也 (30)

三井 栄治 (36)

中村 征司 (42)

朝倉 慶子 (48)

太田原 みどり (54)

武澤 実穂 (60)

天池 美穂 (62)

山崎 丈 (64)

《グラフィア》

卒業生「八嶋智人」さんによる講演（6年生）

トマト祭り

《序文》 情報の海で生きる

主題

STEAM教育とデューイ実験学校のカリキュラム

反復による「伝える力」の蓄積と、思考を深めるための視点

―低学年の取り組みから見えた話し手と聞き手の変化―

《特別寄稿》

教育格差を踏まえた教育方法・教育内容の在り方についての再検討

◆子ども記 夏休みの自由研究

小林 毅 (1)

清水 聖 (4)

天池 美穂 (10)

田村 恵美 (16)

樫原 貴博 (22)

実践

測定領域で見せた思考力・表現力

―一年 おおきさくらべ(1)―

様々な知識や情報を横断的に駆使し、表現する子どもを育むための題材構想
―「欲しくなる広告」けいこ(造形) 五年―

子どもの個人的な追究の姿を考える

―「たずねびと」(光村図書・五年)の実践から―

考えることに切実感を持ち、自律的に学びに向かう子を育てる①

―「山ねこおことわり」(光村図書・四年上)の実践―

体育学習を通して低学年の子どもたちに育みたい資質・能力とは①

―二年生 動き見つけ(ボール・フラフープを使って)―

共生社会の実現のための外国語教育

―「ならさんぽ」の気づきから(二年)―

◆子ども記 子どもたちにとって必然性のある活動―本質的な主体性を求めて―
◆なかよし 保健室で見えたなかよし

《実践寄稿》

「子供に委ねる」を大切にしたい単元デザイン

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

河田 慎太郎 (24)
服部 真也 (30)
井平 幸子 (36)
島袋 光 (42)
武澤 実穂 (48)
朝倉 慶子 (54)
中村 征司 (60)
太田 奈穂子 (62)
横田 直人 (64)



学習研究 目次 第五〇七号(二〇二三・七)

《グラビア》

コロナ前に戻る学校生活(炊きたてごはん取組)

(なかよし集六)

《序文》 補助線を引く

主題

「内容を教える」から「能力を育む」へ
—国語科の指導や評価の在り方を見直す—

「内容を教える」から「能力を育む」へ
—造形教育における「作品主義・技能偏重」からの脱却—

《特別寄稿》

カリキュラム編成における各種能力指導系統表の意義

◆子ども記

行事の在り方を今一度考える
—子どもを育てる行事をつくるには—

実践

一年月組の集会発表ができるまで

「観察する」ということについて改めて考える

—春の植物を例に—

相互学習によって深まる子どもの追究

—「初雪のふる日」(光村図書・四年下)—

「きらきらぼし」を変奏しよう

—リズム変奏から、音楽を形づくる要素の発見—

どのような視点をもって、問いに迫るか

—奈良の観光はどうあるべきなのだろうか(六年生)—

異文化社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成を目指して

—ウクライナ避難民ヴィクトリアさんとの三回の交流を通じて②(二年)—

◆子ども記 全員で計画する楽しさ

◆なかよし 六年生の仕事となかよし

《実践寄稿》

問題を見いだす楽しさ

—子供に委ねる—

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵:服部真也 カット絵:服部真也

徳村良磨	服部真也	朝倉慶子	武澤実穂	天池美穂	井平幸子	長島雄介	河田慎太郎
(64)	(62)	(60)	(54)	(48)	(42)	(36)	(30)

三井栄治	大貫守	服部真也	西田淳	小林毅
(22)	(16)	(10)	(4)	(1)

《グラビア》

なかよしグループ (くらしグループの活動) 校内発信へ向けた情報集め)

(くらしグループの活動) 校内へ発信)

《序 文》 ファーストペンギンになる

主題

「教わってから考える学習」から「考えてから教わる学習」への転換

考えてから学ぶパフォーマンス課題

― 一年生の自由研究指導の考察 ―

《特別寄稿》

算数における発展的思考・態度の育成

◆ 子ども記 見て、聞いて、友だちから学ぶ姿

小林 毅 (1)

阪本 一 英 (4)

河田 慎太郎 (10)

佐藤 学 (16)

天池 美穂 (22)

実践

子どもたちは、学ぶ喜びを感じることができているか
「朝の会」「かがやく」のすすめ

縄文人になろう(仮) 三年生 「しごと」学習

子どもの考えに沿って進める学習を目指して
「もののとけ方(五年)」

ボールゲーム学習における個の学びと協働の学び
「六星ボールゲームをつくろう(六年生)」

筆者の考えや友だちの考えを分かろうとしながら自律的に学ぶ子を育てる
「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために」(光村図書・六年)の実践

異文化社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成を目指して
「ウクライナ避難民ウィクトリアさんとの三回の交流を通じて(二年)」

◆ 子ども記 シャル・ウィ・ダンス

◆ なかよし 「しずかにしましょう」はなかよしにつながるのだろうか
「相互に注意すること子ども同士の関係は良くなるのか」

《実践寄稿》

子どもの自律した学びを育てる算数科授業

「奈良の学習法と令和の日本型学校教育の関係」

会員のひろば (70) あとがき (71)

表紙絵:服部真也 カット絵:服部真也

西 田 淳 (24)	清 水 聖 (30)	中 野 直 人 (36)	武 澤 実 穂 (42)	島 袋 光 (48)	朝 倉 慶 子 (54)	檜 原 貴 博 (60)	中 村 征 司 (62)	由 良 健 一 (64)
------------	------------	--------------	--------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------



《グラフィア》

学習の様子①

学習の様子②

《巻頭文》

主題

子供の学びの文脈で育む学力

学習姿勢の土台を築く『奈良の学習法』

「一年生の日記より「気づき」から「学び」への筋道を検討する」

その子らしきかがやく「令和の日本型学校教育」の出発点

「かがやく」の時間における子どもの自由研究発表から考える

《特別寄稿》

児童が感じる算数の「難しさ」を考える

「第4学年 角とその大きさ」を例に

子ども記 工夫して生きる子ども達

小林 毅 1

長島 雄介 4

鳥袋 光 10

岡部 恭幸 16

清水 聖 22

実践

コンピテンシーベースを意識した水泳の学習

五年生の「美術作品に対する見方・感じ方」はどのようなものか

「二つの鑑賞実践から けいこ（造形）五年」

身の回りにある形への関心を高め、図形概念形成を図る算数学習

「二年「三角形・四角形」」

メタバースで行う協働学習

「マインクラフトで奈良市を学習する①」

「発芽に水は必要」という当たり前を問い直す学習

「植物の発芽と成長（五年）」

しごこの学習をどのように始めるか

「情熱！大和野菜 しごと 三年」

子ども記 なかよし掃除

なかよし 「ぼちぼちいこか」

《実践寄稿》

タブレット活用による新たな自己表現と友達と相互に理解できる力を育む学習活動について

「コロナ禍での生活を乗り越えて」

会員のひろば あとがき

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

阪本 一英 24	服部 真也 30	三井 栄治 36	中村 征司 42	中野 直人 48	榎原 貴博 54	太田原 みどり 60	井平 幸子 62	中西 隆英 64
----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------	----------	----------



《グラフィア》

- 校外学習の様子①
- 校外学習の様子②

《巻頭文》

主題

多様性を受け止める力

新設教科「かがやく時間」で育成する
考えを伝える力、思いを受け止め深化・発展させる力
情報を受け止める力、発信する力
言語能力の深化と学びについて

《特別寄稿》

プロセス思考に基づく授業構成と授業評価
— 数学的態度の育成 —

◆子ども記 日常生活の中で家族とともに自然災害に備える一年生

小林 毅	1
三井 栄治	14
中村 征司	10
矢部 敏昭	16
長島 雄介	22

実践

一年生が「めあて」「ふりかえり」を書くための支援
水となかよし（生活）

— 二月ウオーターパークをつくろう（二年生） — ③

個の思考方法や学びの姿勢を捉える

— Y児のノートと日記から（二つの花）光村図書・四年上 —

文学作品の描かれ方と作者の生き方をどのようにつなぐのか

— 「やまなし」（光村図書・六年）の実践 —

思考しながらつくる楽しいリズム

— 休符によるリズムのおもしろさ —

「食」への意識が高まり、生活へ向かう場面を考える

◆子ども記 今をよりよく生きるために

◆なかよし 子どもたちの手で新しい文化を創る

《実践寄稿》

子どもがつくる算数科学習

— 少人数授業の中で考える、主体的・対話的な学習 —

会員のひろば (70) あとがき (71)

表紙絵：服部真也 カット絵：服部真也

河田 慎太郎	24
清水 聖	30
井平 幸子	36
島袋 光	42
天池 美穂	48
太田原 みどり	54
辻村 琳	60
武澤 実穂	62
西浦 健司	64



《グラフィア》

グループなかよし（くらしGの奉仕活動の様子）

《序 文》

コロナ禍で見えてくるもの

小林 毅 (1)

主題

「自律的に学ぶ子どもを育てる『奈良の学習法』」
 ～一人ひとりの探究を生かす学び合い～
 探究をつなげる相互学習②

「しごと」学習の独自学習と非認知能力

個の探究をつなぐ相互学習とは

～文学的文章教材から考える～

《特別寄稿》

図画工作科は、子どもの育ちをどのように支えてきたか

～教科書題材の変遷から考える～

子ども記 自らの生活経験を存分に発揮する一年生

清水 聖 (4)

井平 幸子 (10)

狩谷 潤也 (16)

長島 雄介 (22)

実践

新設教科「かがやく」の時間とは何か

実生活の中で統計的に問題解決する素地を育む算数学習

～二年「第二回二月なかよしタイムをひらこう」

～ひょうとグラフ～の実践より～

楽しくて学びがいのある学習

～流れる水の働き（五年）～

子どもから始まるボールゲーム学習

～五星ボールゲームをつくらう（五年生）～

個の気づきに基づく学びを充実させる国際学習

～アメリカのみんなにお返ししよう（二年）～

熱中症・感染症対策について考える「くらしグループ」の活動

～実態調査から要因と課題を見つけ、状況に応じた対策を提案する子どもたち～

子ども記 社会をみる子どもの目

《実践寄稿》

子どもを探る―長岡文雄とクラスの子から学ぶ

◆ なかよし 自他の良さを知ることから

会員のひろば (70) あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：服部真也

西田 淳 (24)

三井 栄治 (30)

中野 直人 (36)

武澤 実穂 (42)

朝倉 慶子 (48)

辻村 琳 (54)

清水 聖 (60)

長瀬 拓也 (62)

天池 美穂 (68)



《グラフィア》

書初め (1月 本校書道室にて)

高学年なかよし集会 (1月 本校体育館にて)

《序 文》

往還と微分

小林 毅 (1)

【主題】

「自律的に学ぶ子どもを育てる『奈良の学習法』」

～一人ひとりの探究を生かす学び合い～

探究をつなげる相互学習①

朝の会・自由研究発表で育む相互学習の力

阪本 一英 (4)

個の考えを深める相互学習

～「けいこ(算数)」における教師支援の在り方を考える～

三井 栄治 (10)

《特別寄稿》

草創期における奈良女高師附小「特別学級」の特徴と
道徳的な教育目標について — 附小所蔵資料にも言及して

阪本 美江 (16)

子ども記 お楽しみ会を開こう

河田 慎太郎 (22)

【実践】

令和4～7年度、研究開発学校について

阪本 一英 (24)

密を避けて実践できる「造形遊び」題材の開発と授業実践

—「影を分身・合体させると」 けいこ(造形) 四年—

服部 真也 (30)

自ら気づき考える子どもを育てる国語学習

～題名の意味を考える学習(「モチモチの木」 光村図書・三年下)～

井平 幸子 (36)

プログラミングで動かそう! Minecraft 編

～様々な状況下で考える力を伸ばす～

中村 征司 (42)

他教科とも結びながら、音楽の表現へと繋げる

天池 美穂 (48)

栄養教育実習の概要

～奈良女子大学(本学)との連携～

太田原 みどり (54)

なかよし 『他者との結びつきから考えるなかよし』

辻村 琳 (60)

《実践寄稿》

図画工作科における児童の活動を捉えなおす。

～「さぐる活動」を、造形活動の中心として～

河野 愉平 (62)

子ども記 一人ひとりの学び

朝倉 慶子 (68)

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵:服部真也、 カット絵:服部真也



《グラフィア》

歩走練習（11月11～19日）及び歩走練習納会（11月25日）
なかよし音楽会（12月14日 奈良女子大学講堂にて）

《序 文》

壺を創る

小林 毅 (1)

主題

「自律的に学ぶ子どもを育てる『奈良の学習法』」
～一人ひとりの探究を生かす学び合い～
考えを創る独自学習②

個別最適な学びが求められる今、独自学習が生きる
豊かな自然との出会いが生み出す独自学習の創造

西田 淳 (4)

中野 直人 (10)

《特別寄稿》

「子どもはつまずきの天才である」ということ

田中 耕治 (16)

子ども記

自ら考え、自ら獲得した方が、学習は面白い

服部 真也 (22)

実践

自ら得た事実を基に、目の前の疑問を解決しようとする子ども

～一年月組 生き物に夢中 カタツムリ編～

長島 雄介 (24)

水となかよし（生活）

～二月ウオーターパークをつくらう～（二年生）②

清水 聖 (30)

自ら気づき考える子どもを育てる国語学習

～「まいごのかぎ」（光村図書・三年上）の実践から考える人物の変化の読み方～

井平 幸子 (36)

学習法とGIGAスクール

～本校における導入のすじ道と今後の展望～

中村 征司 (42)

独自学習での考えが相互学習でいきるために教師はどう出るか

～「たずねびと」（光村図書・五年）の実践から考える相互学習での教師の出方～

島袋 光 (48)

身近な問題に目を向け、考えをつくる

～しごと ストロー追究（六年生）～

武澤 実穂 (54)

なかよし けいこ（国際）でつくる「なかよし」

《実践寄稿》

反省的な思考や根拠を重視する意識を高める理科の授業作り

～「本当にこの実験で良いか」を問い、二回実験する。～

堀口 拓人 (62)

子ども記

「行動力」「ありがとう」を大切に

天池 美穂 (68)

会員のひろば (70)

あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：服部真也



《グラフィア》

令和3年度次世代教育セミナー
学習風景

《序文》

アップデート

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる「奈良の学習法」
一人ひとりの探究を生かす学び合い
考えを創る独自学習①

個別最適化された学びと独自学習

体育における独自学習

子どもの思考をどうとらえるか

◆学習研究誌 五〇〇号〈特別寄稿〉

すごい学校
子ども達の記憶に残る総合的な学習を 「しごと学習」実践者より
内省の日々
省察・変容を支える「学習研究」誌
奈良女子大学附属小学校で身に付けた教師力
学習研究を書くことで育てられた二十二年間
変わらないもの

(文教大学)

小林 毅 (1)

河田 慎太郎 (4)

武澤 実穂 (10)

都留 正進 (16)

廣岡 昭 (18)

梶田 萬理子 (20)

日和佐 尚 (22)

小幡 肇 (24)

谷岡 義高 (26)

堀本 三和子 (28)

◆子ども記 5年月組の子たちのたくましさ

島袋 光 (30)

実践

他者を意識し、その対象を広げてゆく子ども

―第一学年(しごと) セアカゴケゲモからみんなを守れ!―

主体的に学ぶ力を育てる「生活算数」③

―6年「対称な図形」の実践より―

水となかよし(生活)

―二月ウオーターパークをつくるうー(二年生)―①

集団で学ぶ意義

―絵「この時の気持ちは 忘れられない」けいこ(造形)四年―

子どもの発想が生きる学び

―ものの燃え方(六年)―

◆なかよし 「なかよし」を礎に

《実践寄稿》

「担任の先生と一緒に「造形遊び」のよさを
感じながら専科のあり方を考える

―二年生「光のプレゼント」冬バージョン―

会員のひろば (70) あとがき (72)

表紙絵:宇野陽一、カット絵:服部真也

森 實 祐里 (64)

太田原 みどり (62)

中野 直人 (56)

服部 真也 (50)

清水 聖 (44)

三井 栄治 (38)

長島 雄介 (32)

